

## 第32回「食」と「漁」を考える地域シンポジウム開催概要

「水揚げ日本一・銚子の美味魚を生かした観光地域づくり」と題し、第32回「食」と「漁」を考える地域シンポジウムが次のとおり開催された。

1 日 時 平成27年11月14日(土) シンポジウム(13:00~17:00)

2 会 場 銚子プラザホテル

3 内 容

コーディネーター:二平 章(漁業情報サービスセンター・茨城大学人文学部)

≪第1部≫シンポジウム:観光地域づくりと銚子の魅力

### ■特別報告■

○さかなのおいしいまちづくりへの挑戦

清水 実

(さかなのおいしいまちひたちなか推進協議会・ひたちなか市観光協会副会長)

○沼津の魚食観光はなぜ成功しているのか

後藤 義男

(ぬまづみなと商店街協同組合理事長・沼津魚仲買商協同組合理事長)

○全国の人と地域をつなぐサバイベント

小林 崇亮(全日本さば連合会会長)

### ■リレートーク■

○魚のまち銚子の歴史をさぐる

荻久保勝雄(銚子ボランティアガイド観光船頭会会長)

○水揚げ量日本一、銚子は新鮮魚の魅力いっぱい

大塚 憲一(銚子市漁業協同組合常務理事)

○銚子キンメのブランド化

金野 一男(銚子市漁業協同組合外川支所漁業者協議会代表)

○「銚子の宝魚」でおもてなし観光

清水 俊和(銚子まちづくり株式会社代表取締役)

### ■パネル討論■ 銚子の歴史・自然・食の魅力と観光地域づくり

司 会 : 二平 章(漁業情報サービスセンター・茨城大学人文学部)

パネラー: 清水 実(ひたちなか市観光協会副会長)

後藤義男(ぬまづみなと商店街協同組合理事長)

小林崇亮(全日本さば連合会会長)

荻久保勝雄(銚子ボランティアガイド観光船頭会会長)

大塚憲一(銚子市漁業協同組合常務理事)

金野一男(銚子市漁業協同組合外川支所漁業者協議会代表)

清水俊和(銚子まちづくり株式会社代表取締役)

笹本博史(銚子市産業観光部長)

4 共 催 (一財)東京水産振興会・(一社)漁業情報サービスセンター

銚子うめえもん研究会

5 後 援 銚子市・銚子商工会議所・(一社)銚子市観光協会・

銚子市漁業協同組合・全日本さば連合会

- 6 参加対象 一般、水産・商工関係者等
- 7 参加人数 シンポジウム 113 名
- 8 シンポジウム開催の経過

(一財)東京水産振興会と(一社)漁業情報サービスセンターは、日本の食を支える地域漁業の発展と魚食文化の育成を目的として、地域の人々とともに、全国で「食」と「漁」を考えるシンポジウムを開催してきた。今まで31回開催している。銚子市での開催は、第1回をはじめ、今回で4回目の開催となる。直近の第31回は、平成27年8月11日に宮城県気仙沼市でサンマ資源の国際管理と今期の来遊動向という内容で開催された。

- 9 開催の趣旨 地方の食の魅力は景色観光よりもリピーター率が高いとされ、食の魅力開発は観光人口増加の要といえる。漁港都市、漁村には新鮮な魚介類が豊富で、なかでも、銚子市は魚の水揚げ量日本一、サバ、イワシ、サンマからマグロ、カジキ、キンメ、マダイ、ヒラメなど美味魚がいっぱいの地である。茨城県ひたちなか市や静岡県沼津市の魚食のまちづくりや全国の漁商工連携の取り組みなどの事例を交えながら、銚子の魚を生かした一層の観光地域づくりについて考えるシンポジウムを開催した。

